

科 目 名		学 年	
ネットワーク組織論: Theory of Network Organizations		2K	
教 員 名		伊藤孝夫: Takao ITO	
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
2	100分×15回	選 択	講 義・後 期
授 業 概 要			
グラフ理論の基本をはじめ、ネットワーク組織と系列との比較研究を行い、ネットワーク組織の定性分析とともに、企業組織の問題を定量化するグラフ理論とフリーマンモデルを講義する。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
①ネットワーク組織の概要を説明できる。②ネットワーク組織の計量分析をすることができる③ネットワーク組織論を応用することができる		①中間試験(35%)、②期末試験(35%)、③課題レポート(15%)、④自学自習によるレポート(15%)によって評価する。	
学 習・教 育 目 標		(C)②	JABEE基準1(1)
		(d)-(1)	
回	項 目	内 容	
第1	基礎知識	ネットワーク組織の概要を説明する。	
第2	組織研究	組織研究の最新動向(組織エコロジー理論、制度学派理論)	
第3	組織研究	組織研究の最新動向(資源依存理論、取引費用経済学)	
第4	組織研究	組織研究の最新動向(ネットワーク組織論)	
第5	セントラリティ	フリーマンモデルの概念と測定	
第6	セントラリティ	フリーマンモデルの測定:直径、半径、周辺等	
第7	セントラリティ	固有値、情報、SNW分析	
第8	中心と密度分析	密度の計算と分析	
第9	バランス分析	有限バランスと $\beta$	
第10	派閥の問題	派閥の定義とその計算	
第11	相互作用の測定	DEMATELと相互作用の測定	
第12	ターミナルの容量	ターミナルの容量と事例分析	
第13	有効規模と効率	エゴの概念と有効規模の算出	
第14	レポート作成	学んだことの概要、興味を持ったこと、応用として考えられること、調べたこと等について報告書を作成する。	
第15	まとめ	学習事項全体のまとめを行う。また授業アンケートを行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目		経営組織論	
教科書		プリントを配布する	
参考書		Social Network Analysis (S.Wasserman & K. Faust, Cambridge)	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考		授業後にアンケート調査を実施する。	